

第十四號 地方税制改革の件

主 文

本大会は次の二提案を決議す。

決議

A、一般的提案

一、國稅附加税賦課の自由と附加税率制限法を撤廢すること

一、特別地稅家屋稅並にそれらの附加税及び戸數割を即時撤廢すること

一、營業稅雜種稅並にそれらの附加税を改廢すること

B、暫定的提案

一、所得稅地租營業收益稅三國稅附加税の税率を引上げる

一、特別地稅並に同附加税を低減すること

一、家屋稅並に同附加税を果進的不均一賦課税とすること

一、雜種稅營業稅並に同附加税に不均一賦課を適用し所有課税に重課すること

一、雜種稅或は特別中稅に左記新稅を加へること

(甲) 既に府縣雜種稅或は市町村特別稅として數地方に實

施されてゐるもの

電柱稅、金庫稅、遊興稅、反別割、馬券買得稅、旋風器稅、軌道稅、玉突臺稅、船舶取得稅、蓄音器稅、廣告稅、動力應用機械稅、瓦斯管稅、漁業權取得稅、ゴルフ稅、地中電線路稅、商品切手發行稅、新開免租地反別割、不在別莊所有稅

(乙) 未だ何處にも實施されてゐないもの

不在地主稅、土地增價稅、百貨店稅、借地權取得稅門稅、葬稅

一、戸數割賦課標準と資産の狀況に對し十分の四、所得額に對し十分の六とすること

理由

勞農大衆を××して金融資本家の犠牲にする國家財政はその投影を府縣市町村にまで投けつけてゐる。道府縣經常部歳出二億四千六百八十五萬圓中警察費は七千七百十萬圓を占め經常部歳出費目の最高峰をなしてゐる。(經常部臨時部合計歳出費目別は參考表一参照、而してこれら歳出は稅收入に大部分を俟たなければならぬ(參考表二)がその絕對巨額を特別地稅(四五反の自作農稅)以下戸數割等に至る大衆稅に仰いでゐる。營業稅が小賣商人並に湯屋理髮

大衆議員のための恰好の手段たるものである」

斯る意味を以て作成されたのが暫定的提案である、そしてその全項を貫流してゐる精神は「大衆稅絕對反對、果進的所有課稅獲得」にある、勿論それは百パーセントの尖锐さを持たぬ歪曲されたものではあるが!

附加税制限の法持はブルジョア財政の必然的膨脹に依つて無慘に破壊されて仕舞つた。(參考表と同三とを比較對照せられよ)吾等はこの傾向を各自治體に於て意識的に發展させ所有課稅の重課を戦ひとらなければならぬ。家屋稅附加税の不均一賦課問題!數年前を回想するならば會社工場建物には特別戸數割が存在して一般家屋よりも重い戸數割を課せられてゐたではないか!戸數割が家屋稅に改正された以上これが不均一賦課は當然の要求であり、東京市は今年度から家屋稅附加税の不均一制を實施して居り府下王子町は數年前から不充分ながらもこれを實行してゐる。

營業稅並に同附加税の不均一賦課も既に施行されてゐるとは言へ、多くの場合に重く上に軽いアベコバな不均一賦課であるから吾等はこれを先づ逆轉させなければならぬ自轉車稅牛馬車稅即ち諸車稅の廢止輕減は説明するまでもなく吾等の實踐的スローガンとなつてゐる。只雜種稅附加

第十四號 地方税制改革の件

主 文

本大会は次の二提案を決議す。

決議

A、一般的提案

一、國稅附加税賦課の自由と附加税率制限法を撤廢すること

一、特別地稅家屋稅並にそれらの附加税及び戸數割を即時撤廢すること

一、營業稅雜種稅並にそれらの附加税を改廢すること

B、暫定的提案

一、所得稅地租營業收益稅三國稅附加税の税率を引上げる

一、特別地稅並に同附加税を低減すること

一、家屋稅並に同附加税を果進的不均一賦課税とすること

一、雜種稅營業稅並に同附加税に不均一賦課を適用し所有課税に重課すること

一、雜種稅或は特別中稅に左記新稅を加へること

(甲) 既に府縣雜種稅或は市町村特別稅として數地方に實

施されてゐるもの

電柱稅、金庫稅、遊興稅、反別割、馬券買得稅、旋風器稅、軌道稅、玉突臺稅、船舶取得稅、蓄音器稅、廣告稅、動力應用機械稅、瓦斯管稅、漁業權取得稅、ゴルフ稅、地中電線路稅、商品切手發行稅、新開免租地反別割、不在別莊所有稅

(乙) 未だ何處にも實施されてゐないもの

不在地主稅、土地增價稅、百貨店稅、借地權取得稅門稅、葬稅

一、戸數割賦課標準と資産の狀況に對し十分の四、所得額に對し十分の六とすること

勞農大衆を××して金融資本家の犠牲にする國家財政はその投影を府縣市町村にまで投けつけてゐる。道府縣經常部歳出二億四千六百八十五萬圓中警察費は七千七百十萬圓を占め經常部歳出費目の最高峰をなしてゐる。(經常部臨時部合計歳出費目別は參考表一参照、而してこれら歳出は稅收入に大部分を俟たなければならぬ(參考表二)がその絕對巨額を特別地稅(四五反の自作農稅)以下戸數割等に至る大衆稅に仰いでゐる。營業稅が小賣商人並に湯屋理髮

大衆議員のための恰好の手段たるものである」

斯る意味を以て作成されたのが暫定的提案である、そしてその全項を貫流してゐる精神は「大衆稅絕對反對、果進的所有課稅獲得」にある、勿論それは百パーセントの尖锐さを持たぬ歪曲されたものではあるが!

附加税制限の法持はブルジョア財政の必然的膨脹に依つて無慘に破壊されて仕舞つた。(參考表と同三とを比較對照せられよ)吾等はこの傾向を各自治體に於て意識的に發展させ所有課稅の重課を戦ひとらなければならぬ。家屋稅附加税の不均一賦課問題!數年前を回想するならば會社工場建物には特別戸數割が存在して一般家屋よりも重い戸數割を課せられてゐたではないか!戸數割が家屋稅に改正された以上これが不均一賦課は當然の要求であり、東京市は今年度から家屋稅附加税の不均一制を實施して居り府下王子町は數年前から不充分ながらもこれを實行してゐる。

營業稅並に同附加税の不均一賦課も既に施行されてゐるとは言へ、多くの場合に重く上に軽いアベコバな不均一賦課であるから吾等はこれを先づ逆轉させなければならぬ自轉車稅牛馬車稅即ち諸車稅の廢止輕減は説明するまでもなく吾等の實踐的スローガンとなつてゐる。只雜種稅附加